

二本木峠の山開き ～山つつじ鑑賞会同時開催～



二本木峠では5月5日(祝)に山開きが、多くの来賓を迎え執り行われました。その後、ふれあい坂本会主催の「山つつじ鑑賞会」が行われ、二本木峠のつつじを見ながらバンド演奏、フラダンス・和太鼓などが催され、また農産物等の販売

もあり、大変にぎわいを見せていました。

この時期、二本木峠では鮮やかに色づいた辺り一面の山つつじを見ることができます。

当日も、多くの観光客にお越しいただき、皆さん「鮮やかで美しいです」と口々におっしゃっていました。



一緒に活動しませんか？ ～東秩父村交通安全母の会～

東秩父村交通安全母の会は、村内の母親が会員となっており、主に役員・協力委員の23名で活動しております。主な活動は、季節ごとの交通安全運動街頭活動や、交通安全マスコットの作成と配布、新入学児童への通学指導、敬老会における啓発物の配布等を行っており、特に、交通安全マスコットの作成と配布は本会の主事業であり、毎年様々なものを心をこめて手作りしています。

今までに、折り紙の楊枝入れ(交通事故や詐欺被害に用心の呼びかけ)や、和紙を使用したマルチケース(事故防止の呼びかけ)などを作り、昨年は鶴のポチ袋(右下写真)を作りました。

本年も4月22日に無事総会を終え、平成27年度の活動がスタートしました。

本会では協力委員として一緒に活動していただける方を募集しています。興味のある方は、ぜひ一緒に活動してみませんか？

○事務局：総務課
☎82-1226

母の会で作成した▶
交通安全啓発物



白石神送り

5月10日(日)、白石地内で毎年恒例の神送りが行われました。神送りは、厄病払・かぜの神送りとして伝承され、1年間の無病息災を願う、県の無形民俗文化財に指定されている行事です。

当日は晴天と春風が吹く中、神輿と小旗を持ち、大字境までの道のりを子どもからお年寄りまでさまざまな人々が集まり、行列を作りました。中にはハイキングに来た方など、白石地区外からも多くの方が訪れたようです。

現在、神送りは希少になっており、県内でも2か所の地域のみとなりました。今後もこの行事が続くよう、伝統が大人から子どもたちへと橋渡しがされることを期待します。



和紙の里で 「埼玉ビジネス ネットワーク」開催



4月20日(月)埼玉県内の企業8社が東秩父村和紙の里を訪れました。これは株式会社埼玉新聞社が企画している「埼玉ビジネスネットワーク」という埼玉県内の企業・団体

を対象とした異業種交流事業で、企業間のネットワークの構築と連携による創意工夫から、県内ビジネスの創造促進を目指しています。

企業8社の皆さんは和紙の里の紙すき家屋やふるさと文化伝習館を見学し、紙すき体験をしました。東秩父村の伝統文化に触れるとともに価値ある体験をされ、皆さん納得の様子で自社の発展に繋がるものを得られたようです。